

箕作家の洋学と武雄

津山藩（現在の岡山県津山市）には、エポカルだより7月号で紹介した宇田川家の他に、箕作家という多数の洋学者を輩出した医家があります。

箕作家は、箕作阮甫（1799－1863）が、同じく津山出身の宇田川玄真から洋学を学んだのが、洋学研究の始まりです。箕作阮甫は、幕府の外国文書を翻訳する仕事を勤め、外国使節との交渉時には、通訳としても活躍しました。ちなみに、ロシア使節プチャーチンが長崎に来航した際には阮甫も同行しており、武雄温泉にも立ち寄ったことが阮甫の日記からわかっています。また、日本初の医学の総合雑誌である『泰西



箕作阮甫旧宅（岡山県津山市）

名医彙講』を始め、世界の地理について書かれた『八紘通誌』など膨大な数の著作物を残しており、その分野は、医学・語学・西洋史・兵学・地理学など多岐にわたっています。

その養子である箕作省吾（1821-1846）は、26才の若さで亡くなったものの、世界地誌『坤輿図識』など、維新の志士たちに大きな影響を与えた著作物を著しており、武雄にもその本は残されています。

もう一人の養子である箕作秋坪（1825-1886）は、阮甫と同じく幕府の外国文書を翻訳する仕事を勤め、2度にわたってヨーロッパ諸国に派遣され、幕末の外交交渉に活躍しました。明治維新後は東京に英学塾・三叉学舎を開き、福沢諭吉が開いた慶應義塾と並んで、東京における洋学塾の双璧と称されました。

江戸時代に、洋学を研究しようとする際は、オランダ語の原書を読む必要がありました。洋学者たちは、オランダ語を学習するためにオランダ語の原書を筆写していましたが、箕作阮甫が翻刻したオランダ語の文法書『和蘭文典』によって、その労力が省かれました。福沢諭吉が学んだ適塾や、阮甫や秋坪が勤めた幕府の翻訳所でも、教科書として用いられました。武雄には膨大な数の蘭書が残っており、その研究のために和蘭文典も利用されたのでしょう。



和蘭文典 前編 国重要文化財
(武雄鍋島家資料 武雄市)

募集

大人の司書体験講座

図書館司書の仕事を体験してみませんか。

全5回の講座で本の返却作業、本の修理、本の読み聞かせなどを体験します。

・日時 10月27日(日)～12月1日(日) 全5回実施

・場所 武雄市図書館・歴史資料館

・対象 10名(18歳以上の方、武雄市民優先)

・受講料 無料

・募集 9月1日(日)より受付

※先着順です。定員になり次第、締め切ります。

申し込み多数の場合、武雄市在住の方を優先させていただきます。ご了承ください。

(昨年度の様子)



音訳・点訳体験



おはなし会



第19回 エポカル武雄まつり



武雄市図書館・歴史資料館は、オープンして今年19年目を迎えます。

今年は、毎月1回行っているタケオマルシェと合わせたスペシャルな1日です。

・日時: 10月5日(土) 10:00～16:00

・場所: 武雄市図書館・歴史資料館 (エントランス、ゆめタウン側入口、マルシェスペース)
武雄市こども図書館 (えほんの山、プレイ&ワークスペース)

・対象 どなたでも

・内容 スペシャルおはなし会

タケオマルシェ

音訳・点訳コーナー

都市緑化月間 花苗配布

布のおもちゃであそぼうコーナー

短歌・川柳・俳句展示 など

(内容は変更になることもございます)

キッズウィーク

★10月11日(金)・12日(土)・13日(日)・14日(月)

4日間 たくさんのイベントを開催します！
家族そろってお出かけください♪



敬老の日 読書のすすめ

館内にリーフレットを設置いたします。

4つのテーマで紹介されています。

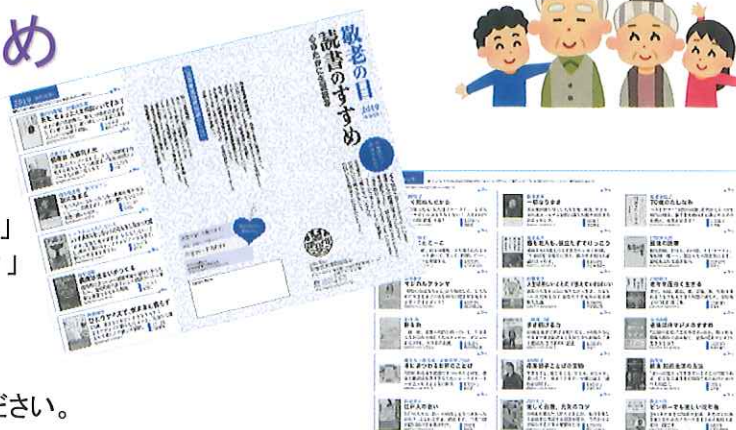
「芸に生きる、スポーツを極める、生き様がここに！」

「自分によく似たキャラクター、状況にうなづくかも？」

「豊かな人生の積み重ねを味わうエッセイ」

「暮らしをちょっと豊かに生き生きと！」

ぜひ、リーフレットを参考に、読書の秋を楽しんでください。



武雄市図書館・歴史資料館

図書館 9:00～21:00/年中無休

歴史資料館 9:00～17:00/月曜休館

(災害時等、緊急の場合は休館致します。)

TEL 0954-20-0222

FAX 0954-20-0223

<http://www.epochal.city.takeo.lg.jp/>

